

F A X 送 付 状



JAPAN MONKEY CENTRE

送信先 報道各位
送信枚数 本紙を含めて 2枚
送信日 2018年 7月 7日

特別展「PrimArt 霊長類アート展」第2期スタート！

7月7日(土)より、特別展「PrimArt 霊長類アート展」第2期をスタートしました。作品の入れ替えをおこない、松沢哲郎教授(京都大学高等研究院)の「アイ・プロジェクト」の研究パートナーである京都大学霊長類研究所のチンパンジーのアイや、人間の話し言葉を聞きわけ、図形文字のキーボードを使ってコミュニケーションをとることのできるボノボのカンジなど、さまざまな大型類人猿による作品を公開します。

また6月19日に亡くなった、手話で会話するとされるゴリラのココの作品も追悼の意を込め展示します。あわせて、特別展関連のイベントもおこないます。

タイトル：「PrimArt 霊長類アート展」第2期
会期：2018年7月7日(土)～2018年9月2日(日)
場所：ビジターセンター内 特別展示室
主催：公益財団法人日本モンキーセンター
共催：京都造形芸術大学文明哲学研究所
協力：京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院
後援：愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、犬山市、犬山市教育委員会
点数：24点 ※第1期限定で展示したのも合わせると全部で36点(絵画でないものを含む)
また、園内の動物に新作を描いてもらって作品を増やしていく予定です。

特別展関連イベント『ゴリラのタロウのLIVEアート』
日時：2018年7月21日(土)11:00～
場所：アフリカセンター屋内 観覧通路
内容：ゴリラのタロウに画用紙とクレヨンを渡し、作品制作にチャレンジしてもらいます。タロウが画材と向き合う様子を観察しながら、ヒトとゴリラの違いや、「アート」とは何か、について考えるイベントです。

特別講演会「チンパンジーのお絵かき」
日時：2018年8月5日(日)11:00～12:30
場所：ビジターセンター内 ホール
講師：伊谷原一(日本モンキーセンター動物園長)
内容：チンパンジーやボノボ研究の第一人者である園長の伊谷原一が、彼らのお絵かきの様子やウラばなし、作品の個性などをお話しします。

特別展「PrimArt 霊長類アート展」では、ヒト以外の霊長類たち(おもに大型類人猿)が描きあげた絵画を展示しています。国内に限らず、海外の大型類人猿が描いたものもあります。加えて日本モンキーセンターの動物たちの作品も展示します。大型類人猿などの霊長類が描いた作品を通して、アートの起源のこと、そして「アート」とは何かについて考えるきっかけになればと思います。ぜひ多くの方にご覧いただきたく、貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26
TEL:0568-61-2327 FAX:0568-62-6823 メール:info@j-monkey.jp
問い合わせ先:学術部 阪倉、高野、赤見、江藤、新宅、綿貫、早川

資料：展示作品



チンパンジー・アイの作品

尾池和夫先生が京都造形芸術大学の学長になられた記念に描かれた作品です。今回特別に現物を展示します。



ゴリラ・ココの作品

チンパンジーのアイのためにゴリラのココが描いた作品です。追悼の意を含め、第1期に引き続き展示を続けます。



普段、研究に参加していないモンキーセンターのチンパンジーのマリンも、今回の展示のためにお絵かきにチャレンジしました。完成した作品は全て展示します。



ボノボ・カンジの作品

チンパンジーのアイと、ボノボのカンジと妹のパンバニーシャが、お互いに絵を交換したときに描かれたものです。カンジの妹のパンバニーシャの絵も展示します。



設営途中でしたが、現代美術作家で京都造形芸術大学教授のヤノベケンジさんにも絵を見ていただきました。「ある種の芸術的なセンスのようなものに深く感銘を受けました。とてもインパクトがありますね。」とコメントをいただきました。